土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	砂防指定地内河川　恵木谷川　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	広島県三次市畠敷町	北緯	34° 48' 53.1241"
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和3年10月11日～ 令和3年10月14日	東経	132° 53' 20.0326"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 238.11m	角度	180 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	10.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 D1-C / エンジン (株)ヤンマー製 NFD-10 / ポンプ BG-3C

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
		3.00		砂混り礫混りシルト		褐～暗褐		rc1	表土および崖錐堆積層に該当する。シルト主体で含水量は少ない。砂は粗砂～細砂が混在する。所々にφ10～40mm程度の礫が点在する。表層には植物根や木片が含まれる。	10/12 1.90
	235.11	5.25		玉石混り砂礫		褐～暗青		rd3	砂礫質土からなり、φ10～30mmの角礫主体。GL-3.40～4.00mでは最大礫径15cm程度の硬質な流紋岩の転石が含まれる。砂は粗砂主体。含水量は少ない。	10/13 3.62
	232.86	7.60		風化流紋岩		暗褐			砂礫状コアとして採取。破砕帯に該当し、破砕作用によって脆く、指圧によって容易に崩れる。岩組織は残存している。節理もみられキレツ面は褐色を呈する。岩級区分はDH級に相当する。	
	230.51	10.00		流紋岩		暗褐			砂礫状～岩片状コアとして採取。上位層と比較してやや硬質。GL-7.75～7.80mや9.60～9.70mでは細粒分が挟在する。岩級区分はCL～DH級。	

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
2	1.15	1 / 180	1 / 120		2 / 300		
	1.45						
2	2.15	1 / 160	1 / 140		2 / 300		
	2.45						
50以上	3.15	17	26	7 / 20	50 / 220	220	
	3.37						
24	4.15	5	9	10	24 / 300		
	4.45						
50以上	5.15	5	20	25 / 90	50 / 290	290	
	5.44						
50以上	6.00	24	26 / 60		50 / 160	160	
	6.16						
50以上	7.00	32	18 / 50		50 / 150	150	
	7.15						
50以上	8.00	50 / 20			50 / 20	20	
	8.02						
50以上	9.00	貫入不能			50 / 0	0	
50以上	10.00	貫入不能			50 / 0	0	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				10/11
				10/12
				10/13